

2 10大費目指数の動き

各費目の動きを前年比で見ると、食料は菓子類の値上がりなどにより0.6%上昇、光熱・水道は電気代の値上がりなどにより2.0%の上昇、保健医療は保健医療サービスの値上がりなどにより0.8%の上昇、交通・通信は、自動車等関係費の値上がりなどにより、0.7%の上昇、教育は授業料等の値上がりなどにより0.9%の上昇、教養娯楽は教養娯楽サービスの値上がりなどにより0.7%の上昇、諸雑費は他の諸雑費の値上がりなどにより0.4%上昇した。一方、家具・家事用品は家庭用耐久財の値下がりなどにより0.9%の減少、被服及び履物は履物類の値下がりなどにより0.7%減少した。また、住居は設備修繕・維持の上昇があったものの、家賃の下落により、前年と同水準になった。

平成27年=100

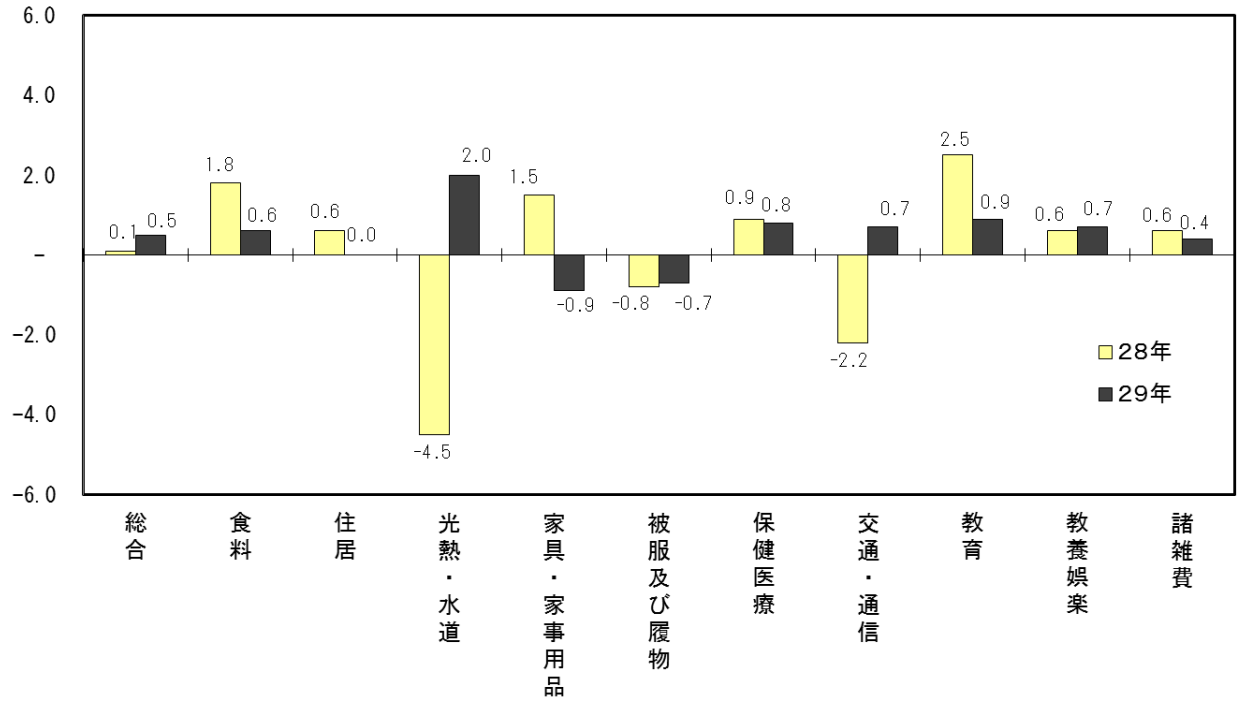
10大費目指数	前年比(%)		寄与度	
	28年	29年	28年	29年
総 合	0.1	0.5		
食 料	1.8	0.6	0.48	0.16
住 居	0.6	0.0	0.12	-0.01
光 熱・水 道	-4.5	2.0	-0.32	0.13
家具・家事用品	1.5	-0.9	0.05	-0.03
被服及び履物	-0.8	-0.7	-0.03	-0.03
保 健 医 療	0.9	0.8	0.03	0.03
交 通・通 信	-2.2	0.7	-0.39	0.12
教 育	2.5	0.9	0.06	0.02
教 養 娯 楽	0.6	0.7	0.06	0.07
諸 雑 費	0.6	0.4	0.04	0.03

※寄与度について

寄与度とは、ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率にどの程度寄与したかを示したものであり、計算式は次のとおりである。

$$\text{寄与度} = \frac{(\text{当期の指数} - \text{前期の指数}) \times \frac{\text{当該項目のウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

費目別前年比



費目別寄与度

